

「お接待のまちづくり」 愛南で出会った笑顔の力



宇和島市まちづくり
Beppin塾
小林 祥子

熱き期待

今回、第11分科会を選んだ理由は、私が宇和島市でお会いする、まちづくりの活動に参加している数人の方から「愛南町は非常に熱いですよ」という言葉を聴いていたからでした。果たしてどのような「熱い」のか、その「源泉」に非常に興味をもっていました。それと、「遍路道がつなぐお接待のまちづくり」と題されていたので、私たちが月に4回、6ヶ月間宇和島市の商店街向けに「お接待塾」を開催し、もともとあったお接待文化に磨きをかけ、「おもてなし力」向上をめざしていたところだったので、是非「愛南のお接待」について学ばせていただきたいと思っただけでもありました。

素晴らしいチームワーク

前夜祭、全体会では、全国から集まっ

てこられた地域づくり団体の皆様の熱き思いに触れ、「このように多くの皆さんが、全国各地それぞれの持ち場でそれぞれのやり方で活動なさっていることがすごいなく」と心の中でつぶやいていました。14日昼過ぎに、いよいよ愛南町に出发した時は、これからのような熱



石垣の里

その中で一番印象に残ったのが、宿泊場所の「山出憩いの里温泉」に向かう際、予定になかった四国88カ寺の内の一つのお寺に行きたい方の希望を募り、即座に柔軟な対応をなさったスタッフのチームワークがすばらしかった点でした。別の車の確

きドラマ”を見せてもらえるのだろうか」と私の心はわくわくしていました。一度行ってみたいと思っていた「未来に残したい漁業漁村の歴史文化財産百選」に選ばれた「石垣の里」、特攻隊の衣装を着て出迎えてくださった「紫電改」、展望台が回り、海拔260メートルから愛南町の景色を360度楽しむことができる「宇和海展望タワー」、と随所でホスピタリティあふれる歓待を受け、参加者全員まるで遠足のように愛南を楽しみました。



かつおのたたきづくり体験

保や先々の段取りの変更等、手数のかかることだったと思いますが嫌な顔一つせず、それどころか笑顔で軽やかにやっていたのける皆様の心根に、お接待の文化の片鱗を見たような気がしました。「全国からおおいでいただいた参加者の皆様にさらに喜んでもらいたい」ただその思いだけで希望を実現させてしまった「この事件」に感動したのは私だけではなく、お寺に参った同室の女性も、この笑顔の対応の素晴らしさを絶賛していました。夜は宿舎で「かつおたたきづくり」を

見せてもらいましたが、説明が丁寧でしかも歯切れがよく、海の男の「生きの良さ」と「誇り」を十分感じさせて頂けるものでした。「夕食交流会」では地元の海の幸・山の幸をこれでもかというほど頂いた上に、「夜なべ談議」でもさらに食べきれないほどの食材がいろいろのまわりに並び、大満足の夜が楽しい語らいのうちに更けていきました。

心に残る笑顔のお接待

翌日は「トレッキング・ザ・空海あいなん」に、私は昨年度に引き続き参加させて頂きました。今年度は愛媛大会の日程に合わせ15・16日に開催され、少々食べ過ぎ飲みすぎで胃腸の調子が悪い方も含め、参加者全員が松尾越えコース7kmを歩きました。このコースは高知県宿毛市から愛媛県愛南町につながる県境越えの自然豊かな遍路道でしたが、少しハードな所もあり、私は日頃の運動不足が祟り、峠を越したときは息も切れ切れでした。そんな時に地元の子ども達から明るい笑顔でアメを差し出して頂き、心がほっと和みました。コース中では、随所で地元の方々がやさしい笑顔と言葉を添えて、お茶や地元の食べ物をサービスしてくださり、体は少々疲れ気味でしたが、心とお腹が一杯になり、疲れも一

遍に吹き飛んだような気持ちになりました。これが地域の人みんなで実践する「愛南の笑顔のお接待」なのだと思心することしきりでした。

2日間にわたり、私達をお世話してくださった方々、大会の準備段階からの連続で大変お疲れだと思いましたが、皆様終止明るい笑顔を決してやらず対応してくださり、これ以上の「お接待」はありませんでした。

ユダヤ教の「人をもてなす時はミルクを差し出すより笑顔を与えよ」という言葉や、また、マザーテレサが「貧しい人達に生命だつてあげることはできる。しかし、微笑を浮かべてそれをしなければ、何も与えることはできない」と言っていました。今回、愛南町の皆様に接してその意味が体感できたように思います。

まちづくりには常に困難があり、忍耐が必要ですが、眉間に皺をよせて行動するのではなく、どんな時でも笑顔で喜びをもって、楽しんでやらなくては、何も周囲に「伝染」していかないと痛感させてくださった貴重な体験となりました。改めて関係者の皆様に感謝の気持ちをお伝えたいと思います。

皆様の笑顔は忘れません。本当にありがとうございました。